

板橋中央総合病院において腹膜透析カテーテル留置術を受けられた皆さまへ

当院では過去の腹膜透析留置術に関する診療記録を用いて、用いて、腹膜透析カテーテル留置時の大網切除術の有効性に関する研究を行っています。

この研究の対象者に該当する可能性がある方で、

- 診療情報等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合
- 研究への協力を希望されない場合、あるいは協力を途中でおやめになりたい場合は末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

腹膜透析カテーテル留置時の大網切除術の有効性について

【研究期間】

2024年1月23日～2025年3月31日

【対象となる方】

板橋中央総合病院において腹膜透析カテーテル留置術を受けられた方

【研究目的・意義】

大網とは、胃の下部から垂れて腸の前面を覆う脂肪に富んだ薄い膜ですが、大網は腹膜透析のカテーテルの側孔に吸い込まれることがあります(大網巻絡と呼びます)。

こうした状態(大網巻絡)になると透析液の出し入れが困難となり、腹膜透析をつづけることが難しくなります。そこで私たちは、腹膜カテーテルを留置する手術をする時に、腹膜を切開した直下に大網を認めたときは、大網を切除しています(大網切除術)。

この方法がカテーテル閉塞の防止に有効であることを示す研究が報告されていますが、私たちは、この方法は、大網巻絡の予防となるだけでなく腹膜透析の継続にも大きく関与する可能性があると考えています。そこで、板橋中央総合病院で腹膜透析カテーテル留置術を行った患者さんを対象に、通常の診療で得られた診療記録を使って研究を行います。

この研究により、腹膜透析療法の質と安全を高めることができると考えています。

【研究の方法】

この研究では、2020年5月1日から2023年11月30日までに腹膜透析カテーテル留置術を受けられた方の診療録記録に記録されている情報(年齢、性別、病歴、手術記録など)を用いて手術時間、大網巻絡の有無、その他の手術関連合併症、腹膜透析継続率などを明らかにします。特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって取得される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。取得した試料や情報・データ等は、解析する前に患者 ID 等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、鍵のかかる戸棚およびパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

この研究のためにご自分(あるいはご家族)の試料や情報・データ等を使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に 2024 年 10 月 31 日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌に公表します。

この研究は、板橋中央総合病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受け、板橋中央総合病院病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者: 三宮彰仁

連絡担当者: 三宮彰仁

174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

03-3967-1181(代表)